

### 第3回総長選考会議の組織検討ワーキンググループ議事要旨

1. 開催日時：令和3年7月26日（月）10：00～12：00
2. 方法：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者：藤井 輝夫、佐藤 岩夫、岩田 喜美枝、翁 百合、小林 いずみ、板東 久美子、大澤 裕、森山 工、須田 礼仁、森 初果、熊田 亜紀子、阿部 賢一、山本 隆司、両角 亜希子  
報告者：横山 広美（カブリ数物連携宇宙研究機構・教授）
4. 議題
  - 1 総長選考会議の組織に係る諸課題の確認
  - 2 意見募集の結果について
  - 3 今後議論すべき論点の項目整理
  - 4 総長選考会議との意見交換の進め方について
  - 5 その他
5. 資料
  - 0 第2回総長選考会議の組織検討ワーキンググループ議事要旨（案）
    - 1-1 両角委員報告資料
    - 1-2 横山教授報告資料
  - 2 意見募集（実施結果・回答まとめ）
  - 3 総長選考会議の組織に係る論点項目（案）
  - 4 総長選考会議の組織検討ワーキンググループ工程表

#### 1 総長選考会議の組織に係る諸課題の確認

議題1「総長選考会議の組織に係る諸課題の確認」に関し、両角委員から資料1-1に基づいて、大学経営を専門とする立場から「優れたリーダー（学長）をどう選ぶか」について報告があった。質疑応答・意見交換が行われ、総長候補者になり得る人材の育成につき、総長へのキャリアパスの整備及びキャリアに関する支援を検討する必要があることなどが確認された。

次いで、横山教授から資料1-2に基づいて主に3点、報告があった。1点目は科学技術社会論の視点から、イギリスで起きた科学技術と政府に対する「信頼の危機」を乗り越えるため、科学者と市民の双方向コミュニケーション、「上流からの関与」が重視されたこと、2点目はリスク認知（社会心理学）の視点から、信頼を構成する要

素は「能力」、「意図（人柄）」に加えて「価値共有」が重要であり信頼構築のコミュニケーションはどの部分に問題があるかを見極める必要があること、3点目は信用を得るため組織のクライシスコミュニケーションでは、迅速さとオープンネスが徹底されるべきであることが報告された。質疑応答が行われ、法制度上、総長選考会議の根本の枠組みを変えることが難しい場合でも、選考等のルールに対する学内構成員の承認・指示を得るための方策など、実現しうる改革はあることなどが確認された。

## 2 意見募集の結果について

議題2「意見募集の結果について」に関し、座長及び事務局より、資料2に基づいて、意見募集の実施概要及び結果について説明があった。質疑応答・意見交換が行われ、寄せられた多様な意見を今後の審議に活かすことの重要性などが確認された。

## 3 今後議論すべき論点の項目整理

議題3「今後議論すべき論点の項目整理」に関し、佐藤委員より、資料3に基づいて、「総長選考会議の組織に係る論点項目（案）」の概要及び検討のスケジュールについて説明があった。質疑応答・意見交換が行われ、国立大学法人法の改正が総長選考会議の委員の選出や、総長選考会議が担う役割に与える影響について検討しつつ、個別の論点について今後議論することが確認された。また、委員の選出基準、委員の選出理由及び委員の多様性等、個別の論点の全体を通じ、情報開示による透明性の確保や説明責任について、今後議論することなどが確認された。

## 4 総長選考会議との意見交換の進め方について

議題4「総長選考会議との意見交換の進め方について」に関し、座長から、次回WGにおいて行う「総長選考会議委員との意見交換」について、総長選考会議委員の選出方法、任期・交代・再任のあり方について、当事者である同会議委員からご意見を伺うことを主な目的とする旨の説明があった。質疑応答が行われ、意見交換をより有益なものとするために、本WG委員が総長選考会議への質問を特に希望する具体的な事項があれば、事前に総長選考会議委員に共有することが確認された。

## 5 その他

議題5「その他」に関し、事務局から、資料4に基づいて、今後の行程表の説明があった。

以上